

くすのき

《題字・迎春の文字》
筆耕同好会 足立茂登彦書



写真「熊野街道（小栗街道：近世の名称）」和泉市府中町あたり。和歌山県に入ると紀伊路を通り、田辺より中辺路をへて熊野本宮へ向けて東へ延びる。

迎 春

新年のごあいさつ



理事長 油谷巧

明けましておめでとうございます。

今年は卯年。「卯」は「史記・律史」では「茂」の意味で若葉が茂ってきた状態のことです。この語源が表わすように、会員の皆さん方が毎日生き生きと健康にも優れ気力も充実した年になるよう念願しています。

さて、高齢社会が進展する中、シルバー人材センターの会員数は増加傾向にあります。その一方で、景気の低迷が続き、会員の就業環境もより厳しい状況になってきてています。

今年は就業の場の一層の開拓・拡大に努め、「共働・共助」の精神のもとワークシェアなど適正・公平な就業機会の提供を徹底していく必要があります。

また、昨年に引き続き、就業の基本である安全就業の更なる徹底と強化を図り、ケガ・事故のない就業環境の醸成をめざすことが求められます。

なお、来年に予定されている公益法人化に向けて、今年は定款の変更など、事務手続きを推進する予定です。

会員の皆様には、本年も就業を通じてはつらつと社会参加が果たせるよう健康には十分ご留意をいただきますと共に、昨年にも増して事務局と協調・協力を図り、和泉市シルバー人材センターの更なる発展に向けてご支援・ご鞭撻賜りますようお願いいたします。

結びに、会員皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ新春のご挨拶といたします。



社団法人 和泉市シルバー人材センター

〒594-0071 和泉市府中町4丁目20-4 TEL.0725-45-5255(代表) FAX.0725-45-5533
HP <http://www.izumisilver.com/>

シルバーワークプラザ

〒594-1101 和泉市室堂町674-58
TEL.0725-56-9900

地場
じーばーのお店

〒594-0071 和泉市府中町1-3-17
TEL.0725-40-0468

実績状況報告・上半期(平成22年4月～平成22年9月)

○会員の状況について

平成22年9月末現在の新入会員数は219名。地域班長による年会費徴収にて退会会員は減少。昨年度の会員数を上回ることが出来ました。(人)

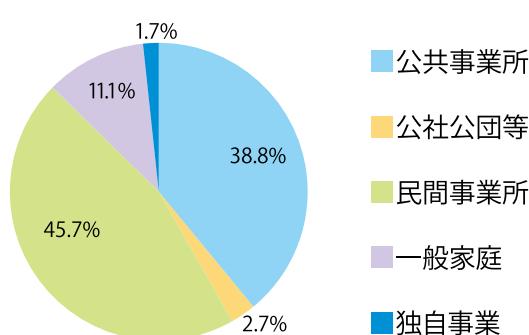
区分	本年度(H22)	前年度(H21)	増減	前年対比
男性	1,200	1,167	33	102.8%
女性	522	536	△14	97.4%
合計	1,722	1,703	19	101.1%

○実績について

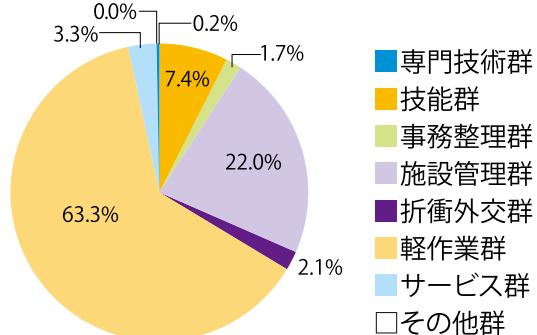
契約金額は前年度比で約120万円減となりました。まだまだ厳しい状況が続いていますが、ローテーション就業を推進することにより、受託件数と就業率は前年の数値を上回ることが出来ました。

区分	本年度(H22)	前年度(H21)	増減	前年対比
受託件数(件)	2,041	1,977	64	103.2%
契約金額(円)	318,231,234	319,417,827	△1,186,593	99.6%
配分金(円)	285,764,481	288,904,965	△3,140,484	98.9%
就業会員数(人)	1,158	1,133	25	102.2%
就業延人員(人日)	71,522	70,949	573	100.8%
就業率	67.2%	66.5%	0.7%	101.1%
月平均配分金(円)	41,129	42,499	△1,370	96.8%
月平均就業日数(日)	10.3	10.4	△0.1	99.0%

公民別比率(平成22年4月～9月)



職群別比率(平成22年4月～9月)



謹賀新年

監事	理事	副理事長	理事長
辻　日下　村　利伸　音順	若　味　三　西　寺　辻　高　沢　木　神　音　池　立　定　石　油　谷　巧		
(五十音順)	島　谷　井　村　西　村　橋　村　寺　岡　地　辺　正　茂　熊　光　元　義　夫		
利　伸　藏　生	一　哲　久　文　博　一　清　朝　正　茂　晴　次　元　義　夫		
	志　子　行　希　文　男　治　子　正　茂　熊　光　元　義　夫		

「元気つ子づラザ」に参加 「子どもたちとかざぐるま製作」 「子ども未来を育む事業



十二月四日(土)市立国府小学校で開催された「元気つ子づラザ」に、センター会員の八人が講師として参加しました。当日は、十九人の低学年の児童を対象にゲームやかざぐるまでの製作を行いました。準備、練習を重ねた成果が見事発揮され、子どもたちの笑顔と共に楽しい時間を過ごしました。皆でかざぐるまをまわしたり、紙飛行機を飛ばして、歓声の中終了しました。

「子どもの安全守り隊」 感謝状贈呈される!!

〈和泉警察署長・和泉市長より〉



センター会員が、通学路で子どもの安全見守りのボランティアを続けています。安全活動を支援し、又活動した事に対し感謝状を頂きました。日々の活動ありがとうございます。

連名表彰受ける 「交通事故防止の取組み」

〈大阪府警察・(財)大阪府交通安全協会により〉

平成二十二年度優良自動車運転者表彰式において、永年交通安全活動を積極的に推進し、交通事故防止に尽くした事が認められ表彰を受けました。



安全と健康について(その2 健康編)

「風邪は手からうつる」

季節は冬、風邪がはやる季節です。全ての感染症を予防する基本は手を洗うこと。風邪の予防も基本は手を洗うことです。

風邪やインフルエンザは唾液などの飛沫が鼻や喉について感染すると考えられています。実はクシャミ、咳などによって人へうつるよりも、手を介して感染するケースの方がはるかに多いといわれています。

ウイルスを持っている人が目をこすったり、クシャミが出るのを手でふさぎ、その手を洗わないまま、他の人に接触すると、ウイルスはその相手にうつる。その人が手を洗わないまま自分の鼻や目をこすると、そこがウイルスの侵入口となって感染すると言われています。風邪の予防には「手洗い・うがいをしましょう!」

安全対策委員会・安全就業推進員



ひろば

顔がほころんだ 一泊研修旅行



府中町
竹内 アツ子

十月の事務局だよりの一泊研修旅行の活字を見て、行きたい、でも不安がよぎる。ひざの痛みと不快感、申し込み当曰まで迷いました。でも年を重ねるごとに誰もが一つや二つ抱えている悩み。勇気を出そう、勇気は元気への道標。自分に大きく言い聞かせて申し込み会場へ。役員さん方の笑顔に来て良かつたと。

出発当日、言葉は交わしたことではなくてもみんな顔見知り。天候にも恵まれ、加賀山代温泉へ。車窓より彦根城を眺めつつ米原 JCT 北陸道を走る。菜草の伊吹山も雄大、一路北へと向かう。

日本元気劇場ではイケメン

の若者たちが忍者姿でダンスショーを見せる。ゆのくに森では杉の大木に手を触れ、緑のシャワーを浴びる気持ちにひたされた。

早めの宿入り。ゆっくりと湯につかる。夜の宴会では盛りたくさん料理を囲み、和氣あいあいと歌に踊り、玉入れゲームでは童心に帰る。「では最後に青い山脈をみんなで」と役員さんの声に足を上げ、腰を振り、輪になつて踊る姿は笑顔の園です。部屋では初めての出逢いとは思えぬ程、旅の夜長に話の花が咲きました。

ホテルの皆さんに見送られ、「今日も好天気でラッキーです」と、ガイドさんの声。前方に雪景色の立山連峰を仰ぎつつ、白川郷のあまりにも神秘的な美しさ。どつちを見ても幻想的で雄大な風景。幾重にも織りなす峰々の秋色模様。誰かが言いました。「脳裏に叩き込んでおこう、喜びもね」と。私にとつて、自然と顔のほころぶ旅でした。

太極拳は 健康の源



室堂町
依藤 孝七

早寝早起きの習慣から、朝五時過ぎよりウォーキングをしていました。ある日、太极拳歴一年先輩の家内より、公園で毎日太極拳をしていかしく躊躇していましたが、勧められ、初めのうちは恥ずかしく躊躇していましたが、そのうち女性陣の中で始めっていました。

少しできるようになってから、教室にも行くことになり、仲間もたくさんでき、楽しく励んでいたところ、五級の試験があると言われ、なお一層頑張ってきたのです。

そして、朝練・教室と、どんどんはまついくうちに、一級まで昇級することになりました。



でもこれからが大変でした。現在、家内は十一月に三段を私は十二月に一段の段位取得をめざして毎日練習に励んでいます。一日の日課は全て太極拳中心に動いています。また、太極拳の合間には、三十年続いている貸農園での野菜作り、シルバー人材センター紹介の仕事も少々しています。さらに今年、年輪大学に入り勉強や仲間との交流を行い、楽しんでいます。こんな状況ですので本当に忙しい一日が過ぎて、夕方、食膳で焼酎を飲むのが楽しみです。夜八時から九時には床に就き、朝四時起きの毎日ですが、一日が早く感じられ、充実感を持つて過ごしています。これも太極拳を通じての健康の秘訣かもしれません。

会員の

モットーは 「まめまめしく」



山莊町
岡根 美佐子

付ける。夏冬なく朝は五時起床、ベッドの上で柔軟体操をし、朝食の準備、身だしなみを整えてご先祖様に家族の健康を願い、読経すること三十分。部屋の掃除を済まし、八時過ぎにバス停へ…。これが私の日課です。

昭和六十三年四月、老人大学の第一期生として福祉会館に席を置き、民舞を習い、書くことが好きなので筆耕部に入部しました。

ところが突然の心筋梗塞の発作で入院、一年間休みました。この時、健康の有難さを痛感致しました。元気を取り戻し、昔習い覚えた大正琴でボランティア活動に参加することになりました。多くの人と交わり、年齢は余り気にせず、何事にも興味を持ち、たくさんのこと学び、お尻も軽く、「まめまめしく」をモットーにしています。

気が付いたことは即実行に

続けるようにし、林の中や田園風景のある道を選んで歩きます。四季の移ろいを目で感じ、身体で感じて、俳句の材料としています。こんな何でもないことが元気の源となるのでしよう。

月に一度、内科・耳鼻科・眼

科・整形外科の診察を受け、現状維持を心がけています。今は秋、味覚と食欲の誘惑に、如何に健康管理をするかで頭を悩ます昨今です。



禁煙 三度目の挑戦



のぞみ野
久原 種文

タバコとの付き合いは、数年前に遡ります。人さまから「よく吸いますね。身体に悪いので少なくしては」と言われていました。持ち歩く鞄の中にいつも好きな銘柄のタバコ二、三箱をキープしておくのが、習慣となっていたのです。

このような愛煙家の私も、実はある時期に二度も禁煙に失敗していました。最初の挑戦は二十六年前、二度目は十年前でした。この二度の挑戦は一ヶ月の入院を契機に周りの助言を受け入れたものでした。しかし、体調が良くなるや、居酒屋通いの始まりと時を同じく、何のためらいもなく、ごく自然にタバコ吸いに逆戻りです。

最近、間接喫煙など、喫煙問題は国民的関心事です。各方面で盛んに議論され、人体へ及ぼす影響などが取り上げられています。

このような背景もあり、喫煙者は何かと隅へ隅へと追いやられていくようで、寂しい思いをしています。現在、禁煙九ヶ月目ですが、三度目の正直で必ずや成就することを願い、自分との戦いは今なお継続中です。

職場探訪

マルタカ

高園芸

「花卉栽培業」

かき

今回は高園芸さん（桑原町）所有の黒鳥地区にある畑を訪問し、代表者の高橋一隆さんにお話を伺いました。



代表者
高橋 一隆さん



楽しむ笑顔で頑張っています



上の写真は、左から 山形春代さん・中塚 多代子さん・今泉 スミ子さん・南出 エミ子さんです。

【事業概要】

事業主体は花の栽培で、アイリス、フリージア、カンパニユーラ、千鳥草、紅花、鶴頭、菊などを作つております。

大正時代からの創業で、ご家族を中心に営まれ、現在の代表者は創業者のお孫さんで三代目です。

これまで事業規模の拡大を順調に進められ、現在は桑原、黒鳥、府中地区に三千坪の土地を所有され、その内二千坪はハウス栽培となり、大規模な経営をされています。

代表品種の年間出荷量はアイリスで七十万本、フリージアは十万本で、主として名古屋市場に出荷されています。

球根の仕入は、種子島や国内各地、アイリスはオランダから輸入されています。

作業従事者はご家族を中心いて五名と、シルバー会員四名の計九名です。土作り等の重作業は男性

がされています。

九月下旬よりアイリス、フリージアの球根を順次時期をずらしながら植付を行い、十一月より順次収穫されています。余地と冬場の裏作業として、多種類の苗物の花栽培も行われています。

【シルバー会員の 作業内容】

現在四名の女性会員が就業し、球根の植付、収穫時裁断、土落とし、枯葉除去、結束、水上げ、ケース詰めなどの細かい作業をしています。

就業時間は九時～五時で週三日程度、ただし年末の出荷時期などは連日出る必要があります。

作業中の畑内での畠を隔てての話となりました。が、自家栽培の野菜をおみやげにいたくなど、家族的な温かみのある雰囲気で作業されていると感じました。

整然とした狭い畠の間で前かがみの姿勢を続け五センチ間隔で球根の植付け作業をこなしているのは、私たちシルバー会員ならではと推察しました。

にも支障なきよう、作業する畑には必ず簡易トイレを設置するようにしています』



【発注者からの一言】

『自然相手で、とにかく天候に左右される作業のため、土日など、関係なく出てもらえる事が何よりも、若い人はそういうわけにはいきません。屋外での作業でもあり、健康

会員厚生会「同好会だより」

早咲きの菊にみとれて淋しくも
溜め池に風が揺る木の葉舟
九十九迄生きてやるかと盆供養
一号が秋を蹴散らし吹き荒れる
秋ばらの色それぞれが靈山寺
十国は早や紅葉の始まりて
秋晴れの山が砦の白川郷
秋桜の可憐に咲きし日暮かな
木洩れ日の抜けて緑の濃き薄き



初花俳句会

鶴翠 水車 康峯 文月
たかし ひろこ 和光 弥生
七重 山水

カラオケ同好会

毎月第一・第三土曜日
午前九時～十二時

俳句同好会

毎月一回 第一土曜日
午前十時～十二時

歩こう会

毎月一回 第三日曜日
(雨天の状況で変更あり)

筆耕同好会

毎月第二・第四金曜日
午後一時～四時

ボランティア同好会

毎月第二・第三金曜日
午後一時～四時

英語同好会

毎月第一～第四金曜日
(第五週目は休み)
午後一時～三時

手芸同好会

毎月第二・第四木曜日
午後一時～四時

◆ 入会希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい。

ボウリング同好会

偶数月第三土曜日
午前十時三十分
場所 キングボウル

男性調理同好会

毎月第一～第四金曜日
午後一時～十二時

男性調理同好会

毎月第一～第四木曜日
午後一時～三時

失敗しても、先生のフォローを得て完成します。

二時間弱で四～五品を作り、出来上がった料理は、皆で楽しく食べています。
ぜひ一度御参加を！



手芸同好会

会では毎月第二・第四木曜日の午後一時より四時までの月二回、楽しく手芸品を作製しています。
三月はおひなさまストラップ及びかざり等の作品。また四月、五月は印鑑入れ。その他自由作品や新しい物など取り組んでいます。
十月の商工まつりの会場では手芸品の販売をしました。

各種教室のご案内

シルバー人材センター会員による各種教室を開催しております。

絵画教室

着物着付け教室

洋裁教室

英会話教室

開催場所

和泉市室町六七四一五八
(彩生館内)シルバー作業所
(社)和泉市シルバー人材センター
TEL〇七二三五一四五一五二五五

お問い合わせ

行事予定

一月

- シニアワーカープログラム事業
「緑化管理講習会」
- 高齢者福祉シルバーライフサポート事業
「健康体操」
- シニア就業支援プログラム事業
「傾聴ボランティア講座」
- シルバーフェスティバル

二月

- 二十一日(火)・二十五日(金)

- シニア就業支援プログラム事業
「傾聴ボランティア講座」
- 二十六日(土)
- シルバーフェスティバル

五月

- 二十八日(土)
- 第二十九回 通常総会

● ● ● ● ● フォトギャラリー ● ● ● ● ●



毎年二月三日節分の日、午後七時より諸願成就の祈祷木を燃やし、火焚の祈祷を行う行事。

「聖」を「火冶り（火を統御する）」とするご神徳により、燃え盛る炎と、もくもくと上昇する雲のようないで邪氣を祓い清め、健康と弥栄を祈願してくれます。燃え盛る火柱と煙には、不思議なパワーを感じ取れます。

（石井）



和泉市の伝説 伝承
聖神社「聖さん」

名所シリーズ

編集後記

あけまして
おめでとう
ござります

旧年中は会報「くすのき」のご愛読、ご投稿、編集等にご協力いただきまして、ありがとうございました。今号は思いきって力

ラーペー面にしましたが如何でしたか。今年は十二支のうさぎの目のように、"赤"るくピョンピョン跳ね上がる景気になつて欲しいものです。

今回の編集におきましては、講師を招き勉強会を行い、より良い紙面作りに努めております。今後も一層のご協力ご支援をお願い申上げます。

広報委員会一同